

## かたくり



米生サロン しめ縄作り



## 地域のお宝

### ～笑顔の年越し～



安方地区 餅つき



12月19日、清和地区の米生サロンでしめ縄作りを実施されました。飾り物は手作りして個性溢れる世界に一つだけのしめ縄を作られました。また、安方地区では25日に全世帯で集まり、餅つきやお宮のしめ縄作りを実施されました。新たな年に願いを込め、各地域で年越しの準備が進められました。

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。昨年は地震・台風・豪雨と大災害の多い年でありました。しかし、山都町では多大な被害もなく農畜産物の販売も順調だったと聞いて居ります。10月27、28日には第6回町内・集落福祉全国サミットを開催しました。全国各地から地域福祉に携わって居られる沢山の方々の出席を戴き熱心に活動の状況、問題点を出し合い有意な大会でありました。民生委員児童委員、老人会、地区福祉会はじめ多くの方々の協力に心から感謝申し上げます。

12月18日に山都町老人クラブ連合会蘇陽支部から「愛の一円玉募金（一円一円の思いやり）」活動の中で会員の皆様の貴重な浄財「27万2千111円」を寄贈戴きました。早速、熊本県共同募金会に送らせて戴きました。安永支部長のお話によると今回で25回目の寄贈との事に心からの感謝とお礼を申し述べ、会員の皆様のご活躍をお祈りし年頭の挨拶とします。



会長 梅田 穰

矢部地区  
藤本 完一 会長清和地区  
佐藤 章 会長蘇陽地区  
春高 徳子 会長

はい！「福祉劇」は山都町30地区福祉会の宝です！

30地区の会長皆さんで「福祉劇」に取り組むなんて、素敵な地域ですね！

11月26日、長崎県諫早市社会福祉協議会から諫早市の地区社協の委員等20名が視察に来られました。山都町の地区社協（地区福祉会）の活動等について、各地区の代表会長にそれぞれお話をいただきました。見守りや地区での集まり、それを活かした情報交換など、それぞれの地区の地域性を活かした取り組みに、大きな関心を持っていただき、有意義な時間を共有する事が出来ました。

長崎県  
諫早市社協視察研修受け入れ

## ～ 掲示版 ～

## 車椅子を寄贈いただきました

9月25日、住友生命労働組合熊本支部より車椅子を1台寄贈していただきました。平成12年からこの活動を続けられており、今までに熊本県内の社協へ合計124台を寄贈されています。寄贈して頂いた車椅子は矢部支部にて福祉体験学習や必要な方への貸し出しなどの為、大切に使用させていただきます。



## 火の国ボランティアフェスティバル

9月29日、30日に予定していましたが第11回火の国ボランティアフェスティバル上益城・熊本市大会は台風24号の影響で中止となりました。10月21日、嘉島町社協でキャッチフレーズの表彰式及び大会フラッグの引き継ぎ式が行われ、次回開催地の山鹿市へ大会フラッグが引き継がれました。



また、熊本市社協と上益城管内の5町社協で災害時相互応援協定が締結されました。



## 平成30年度社協会費納入状況報告

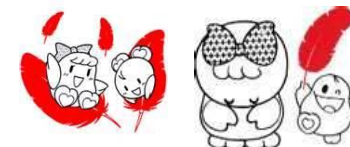
今年度も町民の皆様へ1戸千円の社協会費をお願いしました。納入頂いた会費は社協が実施する地域福祉事業に役立てていきます。御協力ありがとうございました。

【平成30年12月末現在】  
4,652戸  
4,652,000円



## 赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日まで山都町共同募金委員会では赤い羽根共同募金運動を展開しました。住民の皆様への心温かい御協力に心からお礼を申し上げます。次号で実績を紹介いたします。ありがとうございました。



## 愛の一円玉募金贈呈式

12月18日、愛の一円玉募金贈呈式が行われ、山都町老人クラブ連合会蘇陽支部、安永支部長より、272,111円の目録を伝達いただきました。「愛の一円玉募金活動を今後も継続していきたい」というありがたい御言葉もいただきました。ありがとうございました。



※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および会費、寄付金の一部で作成しています。



## 分科会2 震災からの復興、 支え合いを通じた地域づくり

分科会2では、熊本地震における様々なボランティアの形、またそこから地域づくりへと繋がる実践を3名のパネラーに報告いただきました。サポーターである厚労省の玉置氏からは、「今ある地域の資源が活かされ私たちが生き生きと暮らせる地域ができるには、住民も専門職も、前向きに取り組んでいくことが大事であること」を改めて感じた、良い刺激を受けた」との感想をいただきました。



コーディネーター  
宝塚市社協常務理事  
佐藤寿一氏



熊本地震・  
共同支援ネットワーク  
風 保憲氏



NPO法人  
にしはらたんぼハウス  
上村加代子氏



会場の様子



サポーター  
(厚労省) 玉置隼人氏

## 分科会3 みんなが主役になる地域づくり



合同会社フットパス研究所  
代表 井澤り子氏



東竹原自治振興区  
元会長 栗屋克範氏



大野自治振興区  
会長 坂本美喜雄氏



サポーター  
(農水省) 山口 靖氏



コーディネーター  
(有) ひとちいき計画  
ネットワーク  
代表取締役 佐伯謙介氏



会場の様子

分科会3では、集落の資源を活用した取り組みの実践を紹介し、子どもからお年寄りまで巻き込んだ元気ある地域づくりについて考えました。3名のパネラーより、地域づくりを行っていく中で、「自分達が楽しむ」「無理をしない」「出来る人が出来るしこ」の共通意識のもと、取り組みの効果や課題について発表がありました。地域づくりの根底には地域の福祉力が必要不可欠である事を共有しました。

## 分科会1 地域の伝統をつなぐ



菊陽町馬場楠区  
区長 上村隆一氏



白馬会  
会長 緒方利一氏



鹿児島県吹上ワンダーマップ  
情熱家 博多和宏氏



サポーター  
(内閣府) (CLC 理事長)  
中野孝浩氏 池田昌弘氏



会場の全員で情熱ポーズ!!



コーディネーター  
熊本学園大学  
准教授 今吉光弘氏

分科会1では、地域の伝統文化を守り続ける事は、子供から高齢者まで全世代が関わりを持ち、地域が『元気』になる事と、支え合いの原点がそこにはある事について共有しました。会場からは「今まで受け継いできた事を次の世代に伝えていきたい」と熱い感想を頂きました。

## ☆基調講演～「やる気」と「元気」を育む地域づくり～



講師の小野達也氏

1日目の基調講演では、大阪府立大学教育福祉学類長、小野達也氏に講演いただきました。

地域福祉の考え方について、これまでの原因を明らかにして問題を解決する問題解決型から理想を描いてその実現を目指す目的実現型への考え方の転換の必要性について話がありました。また、目的実現型の福祉のために、地域住民がひとつの実践に関わる事から、実践自体が福祉の場・活動であり、「やる気」と「元気」を育む事にも繋がり、結果だけでなく過程も重要である事を改めて学ぶ事が出来ました。



熱心に話を聴く参加者

## 第6回 町内・集落福祉 全国サミット In 熊本・山都町 開催!!

## ☆サミットピックス



書籍販売の様子



通潤橋の里小ヶ蔵女性部  
手芸コーナー



清和文楽「雪おんな（船頭小屋の段）」の披露



司会を務めていただいた  
矢部高校の堀脇麗奈さん



大久保サロン  
手作りのかかし



出店によるお・も・て・な・し

## ☆パネルディスカッション～住民主体による地域の支え合い～

事例発表では、地域のお宝（ひと・もの・こと）に焦点を当てた取り組みについて発表があり、その後、各関係者から、これからの地域福祉の在り方について説明がありました。中山間地域における課題がたくさんある中で、地域の支え合いの重要性を再確認する事が出来ました。



サポーターの皆さん



コーディネーター  
小野達也氏

2日目のパネルディスカッションでは、前日の3分科会のまとめと、2名の方に事例発表いただき、住民主体による地域の支え合いについて討論が行われました。

## ☆サミット全体をあたたく表現した福祉劇



はる婆ちゃん  
一緒に行こう!



普段当たり前に行っている事が  
実はとても良い事であると知りました



30 地区福祉会長の皆さん

オープニングは、30 地区福祉会による福祉劇。「地域のお宝さがし」をテーマに各地区の福祉会長に様々な役を演じていただきました。現在の山都町の暮らしを再現すると共に山都町のお宝や良さを発掘し、サミットの本題へと繋ぐ形での劇となりました。福祉劇を通して、参加者に山都町の良さを知ってもらう事はもちろん、福祉会長同士の交流の機会、また、福祉会長としての悩みや課題を共有する事にも繋がりました。会場は終始笑い声に包まれ、大変好評なオープニングとなりました。